

白老町立国民健康保険病院改築事業 概要

白老町立病院は昭和41年に現在地に建築され、現時点で56年が経過しています。このため、建物自体の老朽化が著しく、耐震上の問題も懸念されており、早期改築が求められています。

そこで、町では、令和3年6月に町立病院改築基本計画を策定し、現地建替を基本に津波対策を講じた、災害に強い病院として改築を進めています。

1 基本方針

「患者さんに信頼され笑顔と思いやりのある病院づくり」を理念として掲げ、医療・介護を多角的に提供する面倒見のいい病院として、本町の地域包括ケアシステムの構築を目指します。

2 施設整備の基本的な考え方

- ① 安全安心な療養環境等を提供できる施設整備
- ② 患者中心の施設整備
- ③ 機能的で働きやすい施設整備
- ④ 経済性を考慮した施設整備
- ⑤ 災害に強い施設整備
- ⑥ 変化に対応できる施設整備

3 施設・建物概要

地名地番	北海道白老郡白老町日の出町3丁目46-1の内、50-4、44-63の内		
敷地面積	14,815.87㎡（病院建設敷地）、約2,380㎡（南側駐車場敷地）		
主要用途	病院（40床）、介護医療院（19床）		
診療科目	内科、整形外科（外科）、小児科、出張医による専門外来診療		
構造・階数	鉄筋コンクリート造（耐震構造）、地上4階（高さ16.268m）		
建築面積	2,580.21㎡		
延べ面積	7,005.18㎡		
階別概要	階	床面積（㎡）	主要諸室
	4階	337.23㎡	機械室、屋上避難テラス
	3階	1,961.59㎡	病棟、介護医療院、リハビリ室、リハビリテラス
	2階	2,126.15㎡	エントランスデッキ、外来、救急、健診、検査、レントゲン、薬剤、給食、事務、医局、会議室
1階	2,580.21㎡	ピロティ駐車場、ゴミ庫、物品庫、機械室、霊安室	

4 スケジュール



■ 階層図

<1階>

- ・1階は柱だけのピロティ構造です。
- ・ピロティ駐車場のほか、外来サブ出入口、職員・サービス出入口、霊安室、設備関連諸室を配置します
- ・ピロティ内に一般車の送迎や巡回バスの乗降のための車寄せを設けます。

<2階>

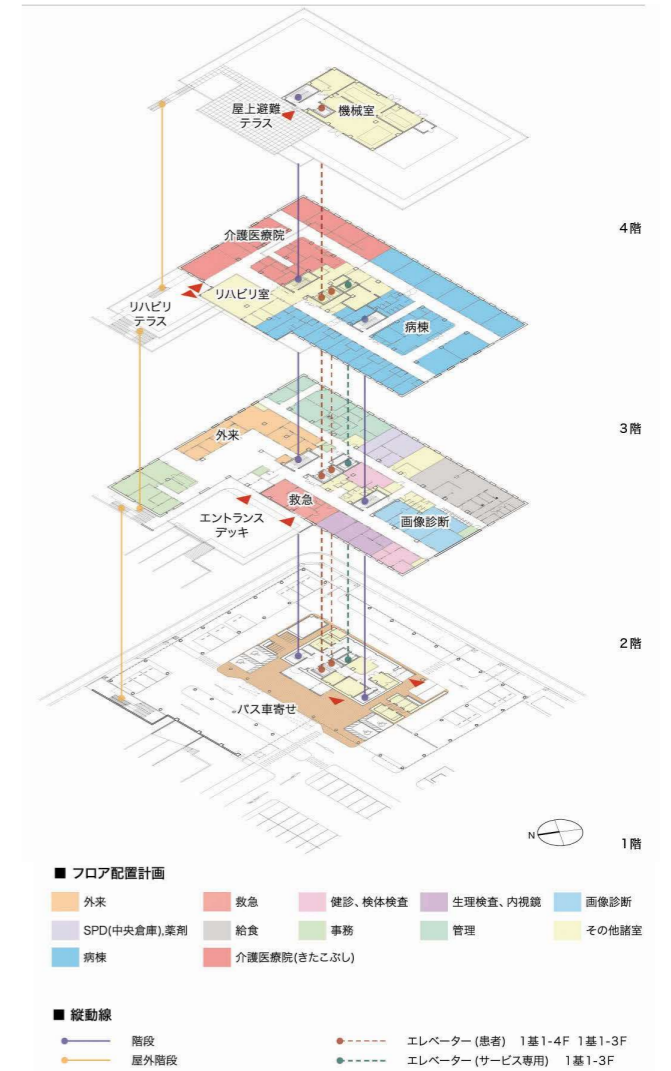
- ・メイン玄関のあるエントランスデッキには車路スロープが接続されています。
- ・外来診療ゾーンと職員ゾーンが南北に区分され、動線交差に配慮されています。

<3階>

- ・40床の一般病棟、19床の介護医療院、リハビリ部門で構成されています。

<4階>

- ・屋上は地域住民の津波一時避難場所として位置付けます。
- ・災害時に病院機能を維持するため、重要な設備等は屋上機械室に設置します



■ パース図

